

第三日 第3章 事業経営における知財マネジメントの基本

1 【○】 知財マネジメントを適切に行わないことで招いてしまう事業リスクとして、模倣品リスクがある。

【解説】他に「知財紛争リスク」「研究開発の重複リスク」「標準化リスク」「特許自体から生じるリスク」「ノウハウ漏洩リスク」がある。 40

2 【○】 知財マネジメントによる事業機会の最大化の手段として、競争相手の開発事業の参入障壁形成がある。

【解説】 43

3 【×】 新しく開発した基本となる発明は、一切他社にライセンスせず、自社だけで製造・販売することが事業として最も有効である。

【解説】 単独で市場を形成できない場合には、技術をオープンにして市場形成することが重要である。 48

カップラーメンやQRコードの例を考えましょう。